

# 議会だより

創る、繋ぐ。子どもたちが誇れるまち

2021

1

令和3年1月27日発行

No.111

やまのべ議会だより

2021年1月号 VOL.111



## いい年になりますように

12月定例会	2
一般質問	4
第3回・第4回臨時会	6
新しい町への挑戦 議会活動報告	7
どうなったべあの質問	9

写真／町内神社での初詣  
(関連記事 10ページ)

発行／山形県山辺町議会  
編集／広報常任委員会

Eメール: gikai@town.yamanobe.yamagata.jp  
〒990-0392 山形県東村山郡山辺町緑ヶ丘5番地  
TEL.023-667-1117 FAX.023-667-1112

山辺町議会  
ホームページは  
こちら



●発行／山形県山辺町議会 ●編集／広報常任委員会  
〒990-0392 山形県東村山郡山辺町緑ヶ丘5番地 ○印刷／藤庄印刷株式会社



## STOP!

## 誹謗中傷

新型コロナウイルス感染症は急速に拡大し、身近でも感染者が急増しています。感染防止に努めながら、新しい生活様式の中で社会経済活動を行い、みんなでコロナを克服すべき時なのに、SNSなどの媒体で匿名による誹謗中傷、間違った情報の拡散や心ない詮索などが発生し、感染者やその家族、学校、勤務先をさらに苦しめています。憂慮すべき事です。

今、私たちが行うべきことは、お互いを思いやり支えあうことです。誹謗中傷で傷つけあうことでは決してありません。

本町議会では、町民とともに新型コロナウイルス感染症に関する諸課題に全力で取り組み、誹謗中傷の根絶を目指すことを宣言いたします。



## 冬もコロナ対策をしっかりと!

新型コロナウイルス感染症は、まだまだ拡大が続いています。みんなで「新・生活様式」の実践を徹底し、感染防止に努めましょう!

会話の際にはいつでもマスクをつけて、会食の際は「静かなマスク会食」を!

### 感染リスクが高まる「5つの場面」

- 場面① 飲酒を伴う懇親会など
- 場面② 大人数や長時間におよぶ飲食
- 場面③ マスクなしでの会話
- 場面④ 狭い空間での共同生活
- 場面⑤ 居場所の切り替わり



(内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室ホームページより)

## 表紙の説明



令和3年初詣の様子を取材してきました。今回の初詣はコロナ対策のためか、参拝者が行列を作ることなく時間的にも分散された参拝の様子でした。  
お願い事はそれぞれ違いますが、一刻も早いコロナの収束を願うのは国内だけでなく全世界の人の想いであることでしょう。家族連れや子どもたちも一生懸命お祈りしていました。疫病退散の旗も掲げられていたようです。  
マスクをはずし、みんなが笑って暮らせる日が早く来てくれますように。

## 編集後記

新年明けましておめでとうございます。  
昨年、新型コロナウイルス感染症の拡大や未曾有の豪雨被害と、災害に振り回された一年であったように思います。これはある意味、人間としてのあり方を、改めて問われているのかもしれない。  
令和3年丑年の新しい春を迎えました。コロナを正しく知り、正しく経済を回しながら、また、災害への備えを一人ひとりが進めながら、マスクの下でも笑顔が花咲くまちをつくってまいります。

竹俣朋記

- 発行責任者 竹俣朋記
- 議長 樋口和男
- 広報常任委員会
- 委員長 渡邊裕二
- 副委員長 神保裕
- 委員 伊藤昭彦
- 委員 齊藤昭彦
- 委員 伊藤恭彦
- 委員 竹俣朋記

◎町ホームページから、議会だよりが閲覧できます。

<http://www.town.yamanobe.yamagata.jp/>





# 新型コロナウイルス感染症対策と 町立小中学校タブレット・スクー ールバス車両購入事業など可決

## 定例会のあらまし

令和2年第4回定例会が、12月2日～4日までの3日間の日程で開催され、3人の議員が一般質問を行いました。条例の改正が4議案、一般会計および特別会計補正予算が3議案、物品購入契約が1議案を審議し、いずれも原案どおり可決されました。

### 条例の制定および一部改正

○町一般職の職員の給与に関する条例の一部改正（専決処分）  
人事院による勧告並びに山形県人事委員会勧告に準拠し、町一般職の職員の給与の条例を一部改正するもの。

○新型コロナウイルス感染症対策利子等補給基金条例の制定  
新型コロナウイルス感染症の経済支援対策として、山形県利子補給制度を受ける町内事業者を支援するために基金を設置するもの。

○町税条例の一部改正  
地方税法が改正されたことに伴い、町税の条例を一部改正するもの。

○町国民健康保険税条例の一部改正  
地方税法および地方税法施行令の一部改正に伴い、国民健康保険税の軽減判定所得基準の見直しなどについての一部改正するもの。

### 町立学校情報通信端末機器（タブレット）購入事業

子ども達一人ひとりに最適化された教育ICT環境を実現する施策の一環として、町では次の整備を進めていきます。

#### 1. 町立学校施設情報通信ネットワーク環境整備

- ①実施設計・工事監理経費
- ②校内LANおよび電源キャビネット整備

#### 2. 町立学校情報通信機器整備

- ①端末機器経費  
児童生徒1、133人分（小学校745人、中学校388人）
- ②LTE通信機器（モバイルルーター）  
就学援助世帯児童数 30人分
- ③遠隔学習用機器（ヘッドホンマイク）  
各学校1学年に一台を基本、中学校3学年のみ学級数分  
小学校18台、中学校7台、計25台



タブレットを使った学習

## 一般会計補正予算

新型コロナウイルス感染症対策支援事業の拡充や実績見込みなどにより歳入歳出それぞれ2億4234万円を追加し、**総額76億737万円**に。

### 主な補正内容

★議会ICT化パソコン購入	231万円の増額
★本庁舎管理事業（本会議場映像音響設備購入）	947万円の増額
★庁舎情報通信事業（web会議・Wi-Fi環境など構築委託料）	1419万円の増額
★保健指導総務事業（在宅当番医制運営事業委託料）	420万円の増額
★山辺温泉保養センター運営事業（管理業務委託料）	450万円の増額
★新型コロナウイルス感染症経済対策事業	4097万円の増額
★教育委員会事務局事業（小中学校タブレット・スクールバス購入）	1768万円の増額
・観光振興事業（左沢線活用協議会負担金）	540万円の減額
・ふるさと応援事業（支援サービス委託料、基金積立）	8216万円の増額
・教育・保育給付事業	3480万円の増額
・児童手当支給事業	714万円の減額
・道路・橋梁維持管理事業	3400万円の増額
・常備消防活動事業（消防事務委託料）	594万円の減額
・道路橋梁災害復旧事業	2146万円の増額

★は、新型コロナウイルス感染症対策事業



除雪路線の確保のため復旧工事が進む町道中作線



感染症対策されたスクールバスの購入が待たれる

## 後期高齢者医療特別会計補正予算

特別徴収保険料の収入見込み額の減や保険基金安定繰入金収入見込み額の減により、歳入歳出それぞれ730万円減額し、総額1億6906万円に。

## 国民健康保険特別会計補正予算

国民健康保険税の収納見込みの見直しによる増額や新型コロナ対策による減免分の補助、繰入金の見込み額の変更などにより補正措置を行うが、既定の歳入歳出予算の総額14億9360万円に変更が生じない。

## ニット議会開催

お気に入りのニットで、町をPR

議員と町幹部職員が町特産のニットを着用し、和やかな雰囲気の中、熱い議論を交わしました。







# 一般質問 町政のここはどうする?

一般質問は、議員が町の行財政や将来に対する考え方などを問い、適切な町政運営を進めているかチェックするものです。山辺町議会では、年4回の定例会で議員が一般質問をしています。



※一般質問は、一問一答方式ですが、紙面の関係で主な質問と答弁を要約して掲載しています。

## 定例会のお知らせ

今回の定例会は3月です。傍聴については、町ホームページをご覧ください。電話 023-667-1117 (議会事務局)

12月定例会では、3人の議員が一般質問を行いました。	
峯田 博	福祉拡充・農業後継 障がい者福祉拡充と農業後継者の育成は
安達 春彦	進捗・反映 一般質問の施策への反映は
武田啓一郎	経済・財務 なぜ?総生産マイナス 財務状況は「要注意」診断

## 福祉拡充 農業後継



博 (町長) 通勤サービスの拡充は現在困難。協力隊受入れは、組織の意見を聞き検討していく

## 障がい者福祉拡充と 農業後継者の育成は

**質問** 障がい者の通勤に対するサービスは、公共交通利用の支援と自動車の給油のみだが、「経済活動」における「外出」は、事業主側が費用を負担するか、全額自己負担が基本。今後障がい者へのサービスを拡充していく考えは。

**答弁** 障がい者の外出時のサービスの外出は、経済活動の外出に利用できず、自己負担だが、福祉有償運送事業者のサービスは「通勤」として利用が可能。現在のところ拡充の実施は難しい。

**質問** 議会報告会で農業後継者は、「日常は農作業をやりたくない者が農業をやりたくない」と発言している。担い手確保の

**答弁** 農業は食料安全確保上でも重要な役割を担っている。国連は「家族農業が自然遺産の保全、伝統的な習慣や文化に貢献し、農業を守り市場性のある持続可能な農業を歓迎する」と発言している。

**質問** 農業は食料安全確保上でも重要な役割を担っている。国連は「家族農業が自然遺産の保全、伝統的な習慣や文化に貢献し、農業を守り市場性のある持続可能な農業を歓迎する」と発言している。担い手確保の

**答弁** 農業分野では今のところ協力隊の受け入れの考えはないが、「町青年農業者連絡協議会」などとの意見交換により要望の把握に努めたい。



後継者育成の早急な対策を

## 進捗・反映

### 一般質問の施策への反映は



春彦 (町長) 状況に応じながら最良のメディアを選択し周知に努めていく

**質問** 2015年に町議会議員になり、これまで20回の様々な一般質問を行ってきた。町長はじめ執行機関の皆様のご尽力で町民の声を反映できた事案、各委員会が検討が進んでいる事案がある。その一方で、その進捗や反映が町民に伝わっていない面もある。その面を工夫し、より良くできないか。

**答弁** 2015年に町議会議員になり、これまで20回の様々な一般質問を行ってきた。町長はじめ執行機関の皆様のご尽力で町民の声を反映できた事案、各委員会が検討が進んでいる事案がある。その一方で、その進捗や反映が町民に伝わっていない面もある。その面を工夫し、より良くできないか。

**質問** 町広報紙、ホームページ、登録制メールなどで町の施策などの周知を図っている。今後も最良のメディアを選択し、周知に努めていきたい。

**答弁** 町広報紙、ホームページ、登録制メールなどで町の施策などの周知を図っている。今後も最良のメディアを選択し、周知に努めていきたい。

**質問** 量・質ともに高い情報を発信し続けたい。

**質問** 「やらない」という選択ではなく、予算が確保できればやるも



より詳しくわかりやすく情報が届く手段構築を

のと判断している。

**質問** 例えば一般質問で取り上げた内容を年に一回執行部に精査してもらい、継続有無などの判断の結果・経緯を町民に伝えていくことはできないか。

**答弁** 先のメディアや座談会などの場で情報を流す努力を行っているが100%ではない。議員の方々をはじめ近くの住民に声がけしてもらいつつ、行政としても聞かれたことは答えるようにしていく。

## 経済・財務

### なぜ?総生産マイナス 財務状況は「要注意」診断



啓一郎 (町長) 持続可能な財政運営基盤の確立を目指す

**質問** 幸福度から住みたま、住みやすさなど、数値的指標や診断ランキングが公開公表されている。今年7月、2017年度の県内市町村別の総生産、経済成長率が発表され、山辺町は2.5%減とマイナス10町村の筆頭だった。要因は建設業の減少とあったが、どうしたのか。再生改善対策は。さらに、10月には東北財務局より、将来見通し「要注意」診断と指摘報道された。診断結果の全容と改善、財政再建計画策定は。

**答弁** 公共事業の減少も将来的には留意すべき状況となる見通しである。

**質問** 財政健全化比率など、総務省方式と財務省指標の異なるとする根拠は何か。

**答弁** 融資審査の充実を図る観点などから、企業財務分析の手法にて「債務償還能力」および「資金繰り状況」などの点検が行われている。

**質問** 町内商業工業な



やまのべの町づくり コロナ禍をどう乗り越えていく

ど、市場経済対応支援策を、根本的に見直すべきでは。新型コロナウイルスにより、税収減は逼迫の様相。町財政は乗り越えられるか。

**答弁** コロナ禍に打ち勝とうと新たに事業展開もあり心強く、長期戦で情報収集に努める。収納対策の効果が確実に表れている。持続可能な財政運営基盤の確立を目指していく。



# 感染症対策のための保育所 設備整備事業などを可決

## 第3回臨時会のあらまし

令和2年第3回臨時会が11月4日開催され、一般会計補正予算1議案が原案どおり可決されました。

### 令和2年度一般会計補正予算

新型コロナウイルス感染症対策支援事業の強化・拡充のために、歳入歳出それぞれ2861万円を追加し、総額73億6502万円に。

主な補正内容

- ・本庁舎管理事業（1階事務室網戸取付工事） 121万円
- ・安達峰一郎記念保育所施設管理事業 1933万円
- ・新型コロナウイルス感染症経済対策事業 155万円
- ・コロナ対策住宅建設等支援事業 240万円
- ・山辺東部・大寺・相模公民館管理運営事業 153万円



子育て支援センター空調設備・抗菌床への改修



感染症対策のため網戸が設置される公民館

# 議場音響と映像設備の更新 新型コロナウイルス感染者への誹謗中傷の根絶

## 第4回臨時会のあらまし

令和2年第4回臨時会が12月23日開催され、山辺町議会本会議場音響及び映像配信設備購入事業契約の締結と、議員発議1件が全会一致で可決されました。

○山辺町議会本会議場音響及び映像配信設備購入事業契約の締結について

契約金額	8,745,000円
契約の相手方	山辺町大字山辺1272番地の4 峯田電器株式会社 代表取締役 峯田和宜

○誹謗中傷をなくし共に支え合うことにより新型コロナウイルス感染症の克服を目指す決議について

山形県においても感染者が急増している今、感染者やその家族、学校や勤務先などへの誹謗中傷、間違った情報の拡散などの根絶を目指す。

（10ページに関連記事）

## 朝日・山辺両町議会議員協議会

### SDGsを共に学んだ後

### コロナ対策・災害復旧について協議

朝日・山辺両町の議会議員協議会が、10月13日に朝日町役場において開催されました。初めにSDGs（持続可能な開発目標）の講演と研修です。講演後にSDGsの目的の理解を深めるための日本初のゲームを、議員で行いました。机に向かっての座学のみでは難しく考えてしまいがちですが、ゲームを通して、目標達成のために必要な財源やスキル、パートナーシップなどを楽しみながら理解することができました。議会としてはもちろん、議員各人の目標を掲げられたと思います。

ゲーム後の協議では、両町共通の課題であるコロナ対策と、7月豪雨災害に伴う両町での災害復旧事業補助について、和やかな中にも真剣な議論が交わされました。回答に熱心にメモを取る議員の姿も多数あり、必らずや今後に役立ててまいります。

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



ゲームを通してSDGsを身近に

## 行財政調査特別委員会

### 町の健全な財政運営に必要なことは何か

行財政調査特別委員会を10月15日に開催し、「第3次山辺町行財政改革大綱評価・検証中間報告書」による状況報告を受け、調査を行いました。

- 【報告内容】
- 第3次行財政改革実施計画の推進状況に基づく評価・検証
  - 平成30年度からの強化策による取り組み状況に基づく評価・検証
  - これまでの取り組み総括（成果など）および次期大綱に向けた方向性

### 【調査内容】

- 現在の状況に至った要因は何か？
- 県内全市町村から見た山辺町の財政状況
- これまで行ってきた行財政改革や効果額
- 平成31年度、令和2年度予算編成に向けた第3次行財政改革大綱に基づく取り組み強化の状況
- 第3次行財政改革大綱に基づく取り組み強化策の取り組み状況の

- 評価・検証（効果額、取り組み効果など）
- 公共施設などの維持管理をはじめとする後年度負担が見込まれる内容（現状の再認識と今後の町の考え方）

以上の報告、調査を踏まえ、最良の財政運営に向け、議会として提言してまいります。



議員全員が行財政の共通認識を

## 国道458号特別委員会

### 非常に危険度が高いと実感、危険箇所への警鐘を

国道458号特別委員会が、令和2年10月16日に開かれ、大塚地内で現場踏査と意見交換が行われました。

- 令和2年5月の大型バイクと軽自動車の死亡事故をはじめ、過去3件の重大事故には次の要因があるのではないかと推測されました。
- ①生活道路から国道に進入する所の見通しが悪い箇所が多いこと
  - ②歩道未整備区間があること
  - ③交通量が増大していること
  - ④運転者のモラルの低下

実際に、全委員で歩いてみたところ、非常に危険度が高いと感じられ、道路管理上の問題点と交通安全対策を講じるべきとの意見が出されました。大塚地内からの安全対策要望も出されていますが、町では将来的なバイパス化が問題解決としています。

委員会として、

- 改良促進と並行し、地域住民の声でもある安全対策と、危険箇所区間であることとの周知策などを関係機関に働きかけてまいります。



委員による現場踏査

# 新しい町への挑戦

## 議会活動報告



町村議会広報研修会

学んだ！議会広報のあり方

第37回町村議会広報研修会が11月5日、山形ビッグウイングで行われ、広報常任委員が参加しました。

講師は全国広報コンクール広報紙部門審査委員でグラフィックデザイナーの長岡光弘氏でした。

今後の広報活動に求められる事としては「紙面のチェック」「目的をしっかりと定め、伝えるターゲット層を設定」「メディア(印刷物・ホームページ・YouTube)を使いこなす」などが挙げられました。

「広報クリニック」では、14町村の紙面作りを具体的に講評していただき、山辺町の「議会だより」は、白黒印刷にもかかわらず表紙のデザインと紙面の構成について良い評価をいただきました。

今後は、「議会だより」の印刷物と共にICTを活用した議会広報も考えていく必要があると感じました。



好評だった議会だより 108号

厚生産業常任委員会

町の観光資源はこのままでよいのか

厚生産業常任委員会が12月17日に開催され、おりの広場「ラベンダー畑」と有害鳥獣対策について、現状と課題を協議しました。

かおりの広場は今年度コロナ禍により閉鎖しなければならず、また天候不順と長雨によりラベンダーが枯れてしまい、来場者が来なくてもラベンダーを手塩にかけて育ててきた職員は悔しい思いがあつたようです。

以前のようならベンダー祭りができればうれしいが、このままでは継続は難しいとのこと。今後はこれまでのような癒し・憩いの広場の機能を活かした施設になるように考えて行くことが大事です。

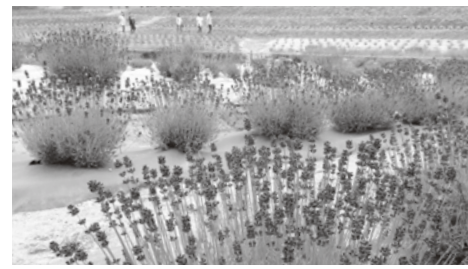
有害鳥獣被害の現状の把握

12月15日現在、鳥獣被害対策実施隊(銃器免許・わな免許・網免許)は57名です。

また、イノシシの捕獲頭数は67頭と年々増えており、次年度は100頭を超えるのではと懸念されています。山間地だけでなく相模地区西側でも畑を荒らしているとの報告がありました。

また、田畑への進入防止のため、今年度は6件の電気柵設置補助申請がありました。

今後は、近隣市町と協力し、捕獲獣の処理場を早急に県に申し入れを行うことが大事です。



満開のラベンダー畑

山形県町村議会議長会研修会

自分の身を守れ!!

県町村議会議員研修会が10月20日、高島町文化ホール(まほら)で、開催されました。

跡見学園女子大学教授で、板橋区危機管理担当部長や議会事務局局長を経験した鍵屋一(かぎやはじめ)氏から「災害対策における地方議会・議員の役割」と題して講義を受けました。

講義の内容は

○自らが被災しないように準備する

○地域での支援活動を行う

○情報の収集と地域への提供

○地域と議会・執行機関との橋渡しを

など、災害対策における、地方議会・議員の役割とは何かなどを学んできました。

鍵屋氏の講義を武田議員と渡邊議員が以前東京で受講したことがあり、その内容に基づいて町議会で委員会を開き、山辺町議会災害時対応マニュアルを作り直しています。

人にとつての本当の敵は『自分は大丈夫』という思い込みです。自分の身を守ることがから始めましょう。



講義に期待して臨む

出前議会

二人で作り上げる人生

山辺婚活サポート会の皆様のお話を聞きに12月10日、山辺町南部公民館で議員7人の参加による出前議会を行いました。

サポート会の皆様7名の参加のもと、これまでの活動や、成婚件数、さまざまなセミナーや大会への参加など、積極的に活動している様子がうかがえました。山辺町で相談会などを行ってもなかなか集まらな



サポート会に議員の人も参加してほしい。顔が広い議員さんからたくさん情報をお願いします。

い。ましてや婚活パーティーなども同じ。活動している中もさまざまな悩みがあることもお聞きしました。

今は結婚適齢期の子を持つ親同士のお見合いも行っているそうです。最近の独身の男女は結婚しなくてもいいという若者が多いようですが、結婚すればいろいろな可能性が広がっていきます。たくさんの経験をすることができるので、ぜひ相談してほしいと思います。

12月16日の山辺町議会議員と商工会役員との懇談会と、12月23日の中山町・山辺町両町議会議員協議会は新型コロナウイルス感染症のさらなる拡大を防止するため、中止となりました。

どうなったべ？ あその質問



議員が定例会で行った一般質問が、どうまちづくりに反映されたか、これまでの質問の一部を取り上げました。

Q この夏の猛暑、子どもたちの環境対策は

平成30年9月4日 第3回定例会

A 子どもたちの命を守り、安心、安全に学習や活動できる環境整備をすることは町としても急務と考える。来年度から空調設備設置に向け取り組んでいく。

結果

平成30年12月定例会にて、小学校空調設置事業の補正予算が可決され、令和元年度に山辺小学校、相模小学校に整備されました。また、作谷沢小・中学校には統合にあわせた期間限定のリースによる空調設備が設置され、令和2年の夏からすべての子どもたちが、快適な環境の中で、学校生活を送れるようになりました。



すべての子どもたちに快適な教育環境を